第275号　令和８年10月1日　発行所：飯田市松尾公民館　編集人：広報委員会　印刷：龍共印刷株式会社

まつお新聞

８月末現在の松尾の人口

男　性	6,062 人
女　性	6,527 人
計	12,589 人
世帯数	5,528世帯

松尾地区ＨＰをご覧ください！

随時更新しています!



いいだ人形劇フェスタ2026

みる・演じる・ささえる　わたしたちがつくるトライアングルステージ











飯田の夏を彩る「いいだ人形劇フェスタ2026」が開催され、市内が熱気に包まれました。松尾地区では７月31日～８月２日、松尾公民館や各区の集会所・コミュニティ消防センター（上溝・新井・清水・毛賀）といった地域の拠点のほか、慈光松尾こども園やさくら国際高校で多彩な演目が上演されました。子どもから大人まで多くの住民が訪れ、趣向を凝らした人形劇の魅力やプロ・アマチュア劇団との交流を楽しみ、地区全体が温かい笑顔に包まれた素晴らしいひとときとなりました。

新井区
子どもたちの歓声響く


漫才みたい

８月１日いいだ人形劇フェスタ新井地区公演が開催され、１３８人が鑑賞しました。

第一部は、おはなしグループでんでんむしが「おたまじゃくし海へ行く」を演じました。始めに、テンポのいい手遊びで会場が一体になった後人形劇に移りました。おたまじゃくしの３兄弟が、大きくなったら何になるかを確かめるため海まで冒険をするお話。おたまじゃくしのかわいい動きや、海の激しく波打つ様子、遠くなったり近くなったりする様子をうまく表現されて、まるでそこにいるような感覚になりました。でんでんむしは、イベントや福祉施設などで年間60公演ほどされているとのことです。

第二部は、人形劇団ししかばぶが「ぴんすけぽんすけ忍法帖」を演じました。忍者の兄弟が悪い忍者に盗まれた伝説の巻物を取り返す物語で、関西弁でのやりとりは漫才を見ているようで子どもたちも大笑いでした。

大町から来た親子は、毎年人形劇の日に合わせて帰省して、今日は兄の家族と見に来たとのこと。子どもたちは休憩中に分館が用意したかき氷を食べながら「面白かった」と嬉しそうに答えてくれました。

毛賀区
一気にハートをつかんだ自転車紙芝居

８月１日、毛賀区民会館で公演してくれたのは、人形劇団桜でんぶとヤッサン一座・ちっち。会場ではマスコットキャラクターの「ぽぉ」が来場者を迎えてくれ、たくさんの子どもたちが人形劇と紙芝居の公演を楽しみました。

昔ながらの自転車紙芝居スタイルに子どもたちは大興奮、公演後に企画された自作の紙芝居づくりと発表会も大盛況でした。



東京から自転車で来ました

清水区
人形劇団ござる・なみと子どもたち

８月２日、清水公演は人形劇団ござる「しょじょ寺のたぬきばやし」、人形劇団なみ「３びきのこぶた・ではない」の２団体、２公演を楽しみました。

両劇団ともオリジナルをそれぞれ上演。場内は、昨年の倍の１２６人、子どもたちも大きな声を上げ一緒に楽しみました。

代田陽亮分館長、嶋岡美樹分館主事は声を揃えて「昨年は上演10分前まで来場が無くヒヤヒヤしたが、今年は早くからの来場もあり安心した。子どもたちに喜んでもらい大成功でした。会場スタッフの協力もあって無事に上演出来て大変ありがたかった」と話しました。


人形劇、はじまり、はじまりー！

上溝区
親子で夢中に二つの劇団の世界

８月１日、飯田人形劇フェスタ上溝地区公演が開かれ、子どもから大人まで約１１０人が人形劇を楽しみました。今年は上郷のシアター奇望堂と、岐阜県の人形劇団えぷろん座の２団体が出演しました。


熱演中！

シアター奇望堂は「起きろ！」を上演。眠っている人形を起こそうと、風船や身近な道具を使ったユニークな演出が次々と繰り広げられ、会場の子どもたちは舞台に引き込まれていました。「ダイナミックでとても楽しかった」「工夫があってよかった」などの感想が寄せられました。


くぎづけ！

人形劇団えぷろん座は「おおかみと３びきのこぶた」を上演。こぶたの人形や家を使い、よく知られた物語とはひと味違う展開で観客を楽しませました。個性豊かなこぶたたちの動きに、子どもたちは舞台に見入っていました。「この先どうなるのか楽しみに見られた」「それぞれのキャラクターがかわいらしかった」との声もありました。

アンケートにはスタッフへの感謝や「来年もこの会場に来たい」との声も寄せられました。小さな子どもを連れた家族の姿も多く、親子で一緒に人形劇の楽しさにふれる地区公演となりました。

中学生企画！ミニこども縁日

7月31日、松尾公民館での人形劇フェスタ公演にあわせて、緑ヶ丘中学校の生徒のボランティア篠田彩音さん、片桐ひまりさん、馬場心大さん（3年）、田中大治郎さん（1年）の4人による「ミニこども縁日」輪投げが行われました。1回50円で3回投げることができ、入った数に応じてお菓子がすくえます。何も入らなくても1すくい、1回入ったら2すくい、2回入ったら3すくい、3回入ったら4すくいできます。

中学生たちは、小さい子が真剣に投げる姿を見て「かわいいー!!」と言いながら、投げる位置を近くに調整したり、お菓子を多めにすくえるようにサービスをしたり、来てくれた子どもたちみんなが楽しめるようにサポートをして盛り上げていました。





公民館で楽しい夏休み

この縁日は7月4日に開催された親子映画観賞会の開演前にも行いました。

7月27日から8月7日までの平日に、小学生を対象にした「夏休みこどもひろば」が民生児童委員と、緑ヶ丘中学校の生徒や一般のボランティアによって松尾公民館で行われました。長期休暇の子どもの居場所づくりとして令和6年から始まった春夏開催のこの広場は、今夏で5回目となり64人が参加しました。

宿題をしたり体を動かして遊んだりするほか、材料を袋に入れてお湯で温めて作るパッククッキングや、公民館探検など子どもたちが楽しめる企画が用意され、8月6日のお楽しみ企画は、公民館入り口のスロープを利用して流しそうめんを行いました。そうめんの他にきゅうりやミニトマト、松尾公民館公式キャラクターのショウサンをかたどって切られたこんにゃくも流れてきて、子どもも大人も皆で夏の昼食を楽しみました。





紙飛行機飛ばしたよ 松尾図書館

8月8日、松尾公民館講座室で松尾図書館主催の「夏のおたのしみ会」が開かれ、親子連れ30人が参加しました。緑ヶ丘中学校の生徒4人もボランティアとして運営を手伝いました。

絵本の読み聞かせや紙芝居の後、中学生ボランテイアも親子と一緒に紙飛行機作りに挑戦しました。

完成すると段ボール箱や色紙で作った的へ飛ばします。うまく飛ばないと拾っては直し、何度も改良をして、飛ばしていました。的に当てて水ヨーヨーをもらった後は、飛距離や滞空時間を競いました。皆で一斉に飛ばし、部屋の端から端まで届くと驚きの声が響き、大人も「〇秒飛んだよ！」と歓声を上げていました。

松尾図書館分館長の今村和美さんは「おたのしみ会は、夏と冬2回あるんですよ。冬も何かやりたいですね」と話していました。


遠くへ飛べ！

防災訓練 地域を自ら守る

8月30日、松尾地区地震総合防災訓練が実施されました。震度6強の地震を想定し、各区でのシェイクアウト訓練や安否確認、松尾小学校での避難所開設、マンホールトイレ設置など実践的な取り組みが行われました。

恩田嘉博まちづくり委員会副会長は「大勢の避難者が一斉に来た際の誘導や名簿作成の難しさを痛感した。被災時には市職員や役員が揃うとは限らず、自分たちの地域は自分たちで守るという意識で今後の対策を進める必要がある」と課題を語りました。


マンホールトイレ設置訓練

分館の夏 松尾の夏2026

上溝区 ふわふわ羊、大集合！

7月12日、上溝集会所で文化事業「フェルトで作るひつじの置物」が開かれ、講師に城の手芸サークルたんぽぽの北沢晶子さんを迎え、約50人が参加しました。参加者はフェルトを針でつつき、少しずつひつじの形に仕上げました。親子で相談したり、作業に熱中したりする姿も見られ、顔や模様に個性あふれる、かわいらしいひつじが勢ぞろいしました。


親子でチクチク

久井区 初笑顔も2倍の夏祭り

8月15日、久井集会所で初めて芸能祭と納涼祭の2部制で夏祭りが行われました。

芸能祭では伝統的なお囃子や、大正琴の演奏の他、ものまね歌唱やダンス、絵描きクイズなど趣向を凝らした発表に、会場が沸いていました。

納涼祭は雨が降り急遽対応もありましたが、係の協力により無事に行うことが出来ました。人気の五平餅はあっという間に売り切れ、射的やビンゴ大会も大盛況でした。


さぁ！みなさんご一緒に！

水城区 雨の納涼大会

8月8日、水城コミュニティ消防センターで納涼大会が開催されました。開催前から夕立に見舞われ区民の方が集まらないのではないかと心配されましたが、子どもから大人まで多くの方の参加となりました。各団体による屋台は行列ができる賑わいでした。雨のため、催しの半分を屋内会場に変更しましたが、来場者は会場でのイベントを楽しみ、地域の親睦を深める事が出来ました。


いいところ見せるぞ

新井区 大盛況の納涼大会

8月15日、新井コミュニティ消防センターで納涼大会が行われました。直前に降り出した雨に露店で用意されたフランクやかき氷などを運び急遽屋内での開催となりました。屋外設営のヨーヨー釣りは雨天にも関わらず子どもたちで賑わいました。ビンゴ大会では豪華賞品を狙い、読み上げる数字に大変盛り上がりました。吉川和夫分館長は、多くの区民により盛況に終われたことに感謝を述べられました。


そ～っと

寺所区 世代を超えて白熱！

7月12日、寺所コミュニティ消防センターで寺所ふれあいモルック大会が開催されました。事前のルール説明もあり、子どもから高齢者まで多くの区民が参加しました。当日編成されたチームでの対抗戦は白熱し、好プレーには大きな歓声が上がっていました。宮嶋信彦スポーツ部長は「地域のつながりを感じることができた」と参加者に感謝の気持ちを伝えていました。


それっ！

明区 賑わい溢れる

8月2日、明公園を会場に納涼夏祭りが行われ、多くの住民で賑わいました。会場には多彩な模擬店が並び、今年は量を増やし、多くの人に振る舞われました。子ども向けの縁日やアトラクションもあり、大きな歓声が上がりました。小林幸雄分館長は「準備から多くの方に協力してもらい大盛況で終えられ嬉しい」と振り返りました。


よーし！狙い通り！

清水区

清水の夏祭り!!


えい!!

8月9日、清水コミュニティ消防センターで夏祭りが行われました。

区民285人余りが楽しいひと時を過ごしました。

屋外ではかき氷や飲み物などが縁日の屋台風に振舞われ、屋内では親子でものづくり、うちわお絵かき、段ボール銃を作って射的で景品ゲット、モルック、ボッチャ体験会、を楽しみました。最後は小学生によるスイカ割りで最高潮の盛り上がりをみせました。

城区

城の夏はサマーフェスティバル!


これでご飯が炊けるんだぁ

7月26日、城集会所でサマーフェスティバルが開催され、多くの区民が参加しました。

屋外では焼き鳥やフランクフルト、焼きそばやかき氷が提供され、屋内では射的や輪投げを楽しみました。また文化教養講座も行われ、飯田短期大学の高木一代先生を招き災害時に役立つ調理方法を学びました。


よーく狙って!

交流会ではミニゲームも行われ、始終笑い声が響いていました。

八幡町区

笑顔で交流!モルック大会


一投に全集中

7月26日、八幡町公会堂で、小学生、PTA、高齢者クラブ愛和会の各チームが参加し、モルック大会が行なわれました。

世代を超えた交流の場となり、会場には笑顔と歓声が広がりました。

狙いを定めてスキットルを倒すたびに拍手が起こり、熱戦が繰り広げられました。参加者同士の親睦が深まり、地区の一体感が高まりました。

代田区

寺子屋祝15周年

8月15日、代田区コミュニティセンターにて寺子屋を語る会が行われました。

今年で15年目を迎える寺子屋の活動に対し参加者からは楽しかった事や地域と子供達が触れ合う良い場など、様々な感想が語られました。

寺子屋運営委員の松澤秀明さんは「15年何とかやってこれた。今後は師匠になってくれる方を増やして寺子屋を継続していきたい」と話しました。


祝15年 師匠ありがとう!

毛賀区

「さぁ、ここから!」だったのに…

8月15日午後3時、おまつり開始を知らせる号砲が鳴ると、毛賀諏訪神社境内にぞくぞくと人が集まってきました。消防による放水体験、壮年会による子どもゲーム、にぎやかな屋台と良いスタートでしたが、ぽつぽつ降り始めた雨は一気にすさまじい土砂降りになり、会場の雰囲気は一変。予定を大きく変更せざるを得ず、不完全燃焼で終わった今年の夏まつりでした。


盛り上がっていたのに…

常盤台区

常盤台の夏、笑顔で盛り上がる

7月25日、常盤台集会所で納涼祭が開かれ、地域住民で賑わいました。オープニングでは常盤太鼓が勇壮な演奏を披露し、祭りの幕を開けました。会場には役員、壮年会による五平餅や焼き鳥、かき氷などの屋台が並び、盛況となりました。子どもたちはスイカ割り、囲碁ボールなどのゲームを楽しみ、夏のひとときを満喫していました。


屋台も大賑わい



伊那八幡駅舎 100年の歴史に幕



1926年（大正15年）12月17日、伊那電気鉄道の駅として開業した伊那八幡駅の駅舎が老朽化（耐震、防災）を理由に100年の歴史に幕を閉じることとなりました。

1975年（昭和50年）までは貨物列車に荷物の載せ降ろしも行われていました。

国鉄時代は駅員がいて切符を購入することができました。またタブレットと言われる輪っかを交換する作業を見ることもできました。

国鉄が民営化されJR東海になってからは駅員も置かなくなり、切符は列車内で購入する形となりました。

本年6月に新しい駅舎（待合室）が完成し、皆に親しまれた洋風造りの旧舎は惜しまれながらも取り壊されます。10月中旬まで公民館ロビーで駅舎の写真を展示しています。



ショウサンのまつお日記　防災 編



松尾小学校「ゆるっとサポーター」募集中


家庭科ミシン授業の補助

松尾地区では「松尾の子は松尾で育てる」をテーマに地域と児童が関わる機会を大切にしています。この度、学校行事や授業のサポートを行う「松尾小学校ゆるっとサポーター（通称：ゆるサポ）」の募集を開始しました。活動情報はLINE公式アカウントから随時発信されます。地域の方、保護者の方、どなたでもお気軽にご登録ください。

ご協力いただける方はQRコードから友達登録をお願いします。

LINE
ゆるサポ QR

松風

みなさん これ知ってます？

2001年に発売の「デジQ」。当時買ったことを思い出し、実家へ急行。箱は当然色褪せていたが、新品同様綺麗なままのデジQを取り出し、早速充電器にセット！が…やはりランプが点かず音沙汰ない☠▼ネット界隈の猛者たちに教えを請うて、専用のニッケル水素電池を購入し、悪戦苦闘の末交換。充電中の赤ランプに歓喜（😆）、緑ランプに替わったところでいよいよ初（再）走行！▼プロポ（送信機）のトリガーを引くと元気に走り出し、この小さなおもちゃに2度目の感動を与えてもらいました▼あの時代からは様相が一変、AIが台頭し、人と人、人と機械、人と情報の関わり方も変わってきています。どんな技術も真剣に向き合った技術者がいる。その技術の上に私たちの思想、生活、社会が成り立っている▼25年前のそれを見ながら、これからの世の中が「健全な豊かさ」であることを願うのでした▼後日、またそっとデジQを箱にしまい実家に戻しておきました▼（もっと遊ばんかい！いや！それなりに動きが古い！笑笑😁）



ふれあいひろば

＊飯田市・品川区・小田原市都市間交流会

7月11日、飯田市・品川区・小田原市の3自治体による都市間交流会が開催された。飯田市の公民館活動の事例発表において、松尾地区市民運動会や高校生講座など、松尾公民館の取り組みを代表事例として発表した。

＊第50回公民館コーラスグループ発表会

7月12日、飯田文化会館で公民館コーラスグループ発表会が開催された。今回は、松尾コーラスと松尾小学校合唱団が合同で出演し「アムール河の波」と「ゆずり葉に寄せるバラード」を歌唱した。

松尾図書館

（公民館2階）

開館日
水曜 午後1～5時
土曜 午前10～午後5時
日曜 午後1～5時

本のリクエストも受けつけています。

ご意見・ご感想をお寄せください。取材依頼も受け付けています。

感想・情報 QR